

## 令和6年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（公民）解答例

受験 校種	高・ 特	教科 科目	公 民	受 験 番 号					得 点	
----------	---------	----------	--------	------------------	--	--	--	--	--------	--

## 1 (各3点)

問1	ア
問2	司法権の独立
問3	エ
問4	エ
問5	イ
問6	ウ
問7	ウ
問8	ア
問9	ウ
問10	ウ

## 令和6年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（公民）解答例

受験 校種	高・ 特	教科 科目	公 民	受験 番号					得 点	
----------	---------	----------	--------	----------	--	--	--	--	--------	--

## 2-1 (各3点)

問1	アドルノ
問2	イ
問3	ウ
問4	ソクラテス
問5	エスノセントリズム

## 2-2 (各3点)

問1	イ					
問2	ア					
問3	ウ					
問4	ウ					
問5 (完全解)	a	イ	b	ウ	c	ア

## 令和6年度 教科専門試験 高等学校・特別支援学校（公民）解答例

受験校種	高・特	教科科目	公民	受験番号					得点	
------	-----	------	----	------	--	--	--	--	----	--

## 3 (問1 : 各2点、問2 : 4点、問3 : 各15点)

問1	(A)	見方	(B)	追究	(C)	主体的
問2	(解答例) 情報の信頼性などに留意しながらインターネットを活用して情報を収集させ、学習支援ツールを使用して、収集した情報の整理や分類などを行わせる。					
問3	①	(解答例)				
3時間を配当して指導を行う。1時間目は、学校行事など学校生活において他者と意見が衝突する						
場面を取り上げて、解決方法の選択・判断を行うための考え方を理解させる。取り上げた場面に対						
して、考えられる解決策を自由に出させたうえで、それらの意見を「行為の結果である個人や社						
会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方など」のい						
くつかの考え方に分類させる活動を行う。2時間目は、大規模な開発計画など環境保護の事例を取り						
上げて、解決方法を考察させ、表現する活動を行う。取り上げる事例は、実際の事例に限定する						
こととし、判例や対立する主張を調べるとともに、それらが依拠する価値観に注目させる。3時						
間目は、生命倫理に関する課題について取り上げて、解決方法を見いだすことを目指す考察を行う。						
思考実験などの概念的な枠組みを用いて、考察する活動を取り入れ、選択・判断の手掛かりとす						
る価値観などについて多面的・多角的に考察させる。						



## 令和6年度 教科専門試験 高等学校（公民）解答例

受験校種	高	教科科目	公 民	受験番号					得点	
------	---	------	--------	------	--	--	--	--	----	--

## 4 (問1 : 各4点、問2 : 各10点)

問1	(1)	(地方自治は) 民主主義の学校
	(2)	プログラム規定説
	(3)	三面等価の原則
	(4)	財政の硬直化
	(5)	信用創造
問2	(1)	(解答例) 内閣の助言と承認による天皇の国事行為として規定された、日本国憲法第7条の場合。また、内閣不信任決議案を可決または信任決議案を否決した際に行われる規定である日本国憲法第69条の場合。
	(2)	(解答例) 賦課方式は、年金原資を同時期の現役世代が支払う保険料で賄う方式で、積立方式は将来の年金給付に必要な原資を保険料で積み立てる方式である。賦課方式は少子高齢化が進むと、現役世代の負担が重くなるという短所がある。一方で、積立方式は、物価変動の影響を受けやすく、インフレになると積立額が実質的に目減りするという短所がある。
	(3)	(解答例) 円安におけるメリットは、外国で日本からの輸出品の価格が引き下がるため、国産品の海外での競争力が上がり、輸出が増加することである。一方、デメリットは外国からの輸入品の価格が上がるため、日本国内での物価の上昇が起こることである。

## 令和6年度 教科専門試験 高等学校（公民）解答例

受験校種	高	教科科目	公 民	受験番号					得点	
------	---	------	--------	------	--	--	--	--	----	--

5 (問1 : 各4点、問2 : 各10点)

問1	(1)	諸法無我	(2)	上下定分の理
	(3)	デューイ	(4)	モラトリアム
	(5)	J. S. ミル (ミル)		
問2	(1)	<p>(解答例)</p> <p>ベンサムは、行為決定の判断基準として、社会全体の幸福の総量が最も大きくなるのが正しいことであるという「最大多数の最大幸福」を主張した。この考え方に従うと、線路を切り替えて犠牲となる人数が少なくなる選択を行うことになる。</p>		
	(2)	<p>(解答例)</p> <p>最澄は、生あるものは全て仏になる素質を持っていると説いた。空海は、三密の行を行えばこの身のままで成仏をとげることができると説いた。</p>		
	(3)	<p>(解答例)</p> <p>着床前診断とは、受精卵を調べて遺伝子異常や流産の可能性を調べるものである。障害を持つ子どもを排除することなどの優生思想につながりかねない倫理的課題が指摘されている。</p>		